安全データシート

作成日：2023 年 4 月　1 日
改訂日：2025 年 7 月 29 日

1. 製品及び会社情報

製品の名称

販売名	サニテート A ハンドミスト
整理番号	2109
発売元	ライオンハイジーン株式会社
住所	東京都台東区蔵前 1-3-28
TEL	03-3616-3159
製造販売元	小池化学株式会社
住所	埼玉県鴻巣市袋 882
推奨用途	業務用 手指消毒剤
使用上の制限	推奨用途以外で使用しない

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

	引火性液体	区分 3

健康に対する有害性

	急性毒性	区分 4
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分 2A-2B
	生殖細胞変異原性	区分 1B
	生殖毒性	区分 1A
	特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）	区分 3（麻酔作用、気道刺激性）
	特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）	区分 1(肝臓)、区分 2(神経)

シンボル

注意喚起語　危険



危険有害性情報

引火性液体および蒸気
飲み込むと有害
強い目刺激性
遺伝性疾患のおそれ
生殖能または胎児への悪影響のおそれ
呼吸器への刺激のおそれ
眠気またはめまいのおそれ
長期または反復ばく露による臓器(肝臓）の障害
長期または反復ばく露による臓器(神経)の障害のおそれ

安全対策　熱/花火/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

応急処置

吸入した場合　新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる事。
気分が悪い時は医師を呼ぶ事。

皮膚に付着した場合　皮膚刺激があれば、医師の診断、手当てを求める事。

目に入った場合	水で数分間、注意深く洗う事。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す事。その後も洗浄を続ける事。
飲み込んだ場合	速やかに口をすすぎ、医師の診断を受ける事。
保管	直射日光の当たらない涼しいところに保管すること。

3. 組成、成分情報

単一製品／混合物の区別:混合物

原料名		含有率 g/100mL	CAS No	化審法官報公示整理番号	通知対象物質	PRTR 法
内容液	ベンザルコニウム塩化物	0.05	139-08-2	(3)-2694	非該当	非該当
	濃グリセリン	1～10	56-81-5	有り	非該当	非該当
	無水エタノール	40～70	64-17-5	(2)-202	該当	非該当
	精製水	適量	7732-18-5	7732-18-5	非該当	非該当

4. 応急措置

吸入した場合	新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる事。 気分が悪い時は医師を呼ぶ事。
皮膚に付着した場合	皮膚刺激があれば、医師の診断、手当てを求める事。
目に入った場合	水で数分間、注意深く洗う事。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す事。その後も洗浄を続ける事。
飲み込んだ場合	速やかに口をすすぎ、医師の診断を受ける事。

5. 火災時の措置

消火剤	噴霧水・泡・粉末・炭酸ガス(適宜、状況に応じて使用する)
使用してはならない消火剤	棒状の注水(火災を拡大する恐れがある)。
消火方法	初期の火災には、多量の水噴霧、または粉末、炭酸ガス等の消火器による消火を行う。 大規模火災には、泡(耐アルコール泡)消火剤を用いて空気を遮断する。
消火を行う者の保護	消火作業の際には、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	付近の着火源となるものは速やかに取り除く。作業の際、保護具を着用する。 風下で作業をしない。
保護具及び緊急時措置	帯電防止服・靴・革手袋を着用する。必要に応じて空気呼吸器及び防護服を使用する。
環境に対する注意事項	漏出物が河川等へ流出しないよう、注意する。
回収	少量の場合は、乾燥砂又はおがくず等に吸収させて、化学物質専用の場所で焼却又は廃棄処理する。 多量の場合は、土砂等で囲み、液の表面を泡で覆い、できるだけ空容器に回収する。
二次災害の防止	漏えい個所の漏れを止める。

7. 取扱い及び保管上の注意

取り扱い上の注意	火気厳禁 炎、火花、高温体との接触、その他点火源となる恐れのある機械等の使用禁止。 本来の用途以外に使用しない。
保管上の注意	直射日光の当たらない涼しいところに保管すること。 幼児の手の届かない所に保管する事。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度と許容濃度

	無水エタノール	濃グリセリン
管理濃度	—	—
日本産業衛生学会	—	—
ACGIH (TLV-TWA)	1000ppm	10mg/m3

設備対策　取扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれないような設備とすること。

保護具

呼吸器の保護具	必要に応じて空気呼吸器を使用する。
手の保護具	必要に応じて乾いた革手袋を着用する。
目の保護具	必要に応じて保護眼鏡を着用する。
皮膚及び身体の保護具	使用形態に応じた作業服、ヘルメットを着用する。

9. 物理的及び化学的性質

内容液

性状	無色透明液体、エタノール臭
比重	0.902±0.010
引火点	24.9℃
燃焼点	31℃
pH	6.5±1.0

10. 安定性及び反応性

安定性	通常状態では安定。
反応性	硝酸、硝酸水銀、硝酸銀、過塩素酸マグネシウムなどの強酸化剤と激しく反応し、火災や爆発の危険をもたらす。ある種のプラスチック、ゴム、被膜剤を侵す
避けるべき条件	高温
混色危険物質	強酸化剤、次亜塩素酸カルシウム、アンモニア
危険有害な分解生成物	一酸化炭素

11. 有害性情報

エタノール

急性毒性	経口	ラット	LD50＝7060mg/kg
	吸入	ラット	LC50＝20000ppm/10H
変異原性	小核	マウス(腹腔)	1240 mg/kg/24H
皮膚腐食性・刺激性		ラビット	400mg 開放 症状(軽度)
		ラビット	500mg/24H 症状(中度)
目に対する重篤な損傷・刺激性		OECD TG405 および Draize test に従った試験により「moderate」と分類	
生殖毒性	吸入	ラット	TCL0＝20000ppm/7H 妊娠、1-22 日 発育異常
	経口	ラット	TDL0=44k/kg 妊娠、7-17 日 発育異常
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)			区分 3(気道刺激性、麻酔作用)
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)			区分 1(肝臓)、区分 2(神経)

12. 環境影響情報

エタノール	マスの幼魚 LC50 11.2g/L/24H
生体毒性	コイの一種 LC50 18-13.4g/L/96H
	クリークチャブ LC50 7g/L/24H
	グッピー LC50 11g/L/24H

分解性	ThOD 2.10mg/L BOD5 ThOD の 44－80% COD ThOD の 95-100% バクテリア硝化能の抑制 4,100mg/L でニトロソモナス種のアンモニア酸化の 50%抑制

13. 廃棄上の注意

市町村の廃棄方法に従って廃棄すること

14. 輸送上の注意

陸上輸送	[容器表示]	消防法の分類名称、品名、数量、注意事項(火気厳禁)等、必要事項を表示して下さい。
	[積載方法]	危険物を収納した運搬容器を積み重ねる場合は、自治省令で定める高さ以下にして下さい。運搬容器の外部には危険物の品名や数量等の表示をして積載して下さい。
	[その他]	運搬に関しては容器に漏れがない事を確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行い、消防法等での法令に従って下さい。高温(40℃)以上にならないように注意して下さい。
海上運搬	船舶安全法等に準拠(手続き、表示、運搬容器、積載量等)して運搬を行って下さい。	
航空輸送	航空法等に準拠(手続き、表示、運搬容器、積載量等)して運搬を行って下さい。	
国連番号	1170	
正式名称	エタノール又はエタノール溶液	
クラス	3	
容器等級	Ⅲ	
海洋汚染物質	非該当	

15. 適用法令

薬機法	指定医薬部外品
消防法	非該当
PRTR 法	非該当
労働安全衛生法	通知対象物質:エタノール 表示対象物質:エタノール
船舶安全法	危険物(引火性液体)
航空法	危険物(引火性液体)

16. その他の情報

注釈

本書の内容は、法規改正、新しい知見や情報入手、試験等により改訂される事があります。記載内容は現時点で入手出来た資料や文献等の情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、如何なる保証もなすものではありません。尚、営業秘密である成分情報は非開示(濃度においては幅記載を含む)と記載している場合があります。全ての化学製品には、未知の危険性や有害性が有り得る為、取扱いには細心の注意が必要です。本書には通常の危険性や有害性について記載してありますが、記載内容以外の危険性や有害性が存在しない事は、保障出来ません。記載事項は通常の取扱いを対象としたものであり、特殊な取扱いをする場合には、新たに用途、用法に適した安全策をご実施の上、取扱い願います。

引用文献

原料メーカー発行の安全データシート